

洛友會報

京都市左京区吉田
京都大学工学部
電気工学科教室内
洛友會

回顧談

野田清一郎 (明治四十二年卒
近畿大学教授)

もう古い事だが私が大正七年から九年にかけて米国に留学した時の話をしよう。

当時助教をしていた私に難波先生から外国留学の話があった。丁度第一次世界大戦中でヨーロッパには行けず、米国のコーネル大学に留学することに決め、ここで二カ年を過ごした。コーネル大学はニューヨーク州イサカに在り、ここは当時人口一

万位で、大きな湖と田園に囲まれた景色の良い大学町だったが、昨昭和四十年に訪れた人の話では今でも閑静な良い所だと云う。

コーネル大学では電気工学教室は授業を参観に行く程度で余り居らず主に物理学教室のベデル教授の所で仕事をし、学位論文も殆どここで書いたのだが、一夕AIEE (米国電気学会) の会合に出席したことがある。私は京大で教室の図書係をして

いた関係から当時会誌購入の便宜上AIEE会員に名を連ねていたけれども学会のことで人に会うことはな

物まで含めた行き届いた催しだった。が、今でも記憶に残っているのはその中で聞いた次の話である。「我々(W社)の技術者は多数手分けして朝から晩まで実地に必要な技術を専念研究している。それと同じことを大学に望むことは無理である。大学で原理通則をしっかりと把握して来てもらえればそれから先の実地は我々が

私はこう思う

道田貞治 (明治四十五年卒・大
阪電氣通信学園学長)

何れの国にも国民には夫々異なった国民性がある。これはその国の歴史、風土、人種などいろいろの原因によって出来たものであって、優れた国民性を持つ国程、文化が進むことはいままでもない。

わが国にも日本国民としての国民性があり、優れたものと考えられるものもあれば、又そうでもないものもある。優れた点は益々のばし、悪い点はこれは矯正せなければならぬ。その善悪は外国人の持っている国民性を調べて見るとよくわかると思う。

誰が言った言葉か知らないが、イギリス人は歩きながら考える。フランス人は考えた後で走り出す。スペイン人は走ってしまってから考えるというところを、何かの書物で読んだことがある。これは国民の思想と実行との相関性について、道を歩む場合にたとえて諷刺した言葉で

教える」と。そして又「数学や物理は勿論の()ラテン語を学生が勉強するのも教養を高めるのによいこととす」と。

時代が移り国は異っても私は大学は基礎知識をしっかりと勉強すると共に、そこで青年男女が楽しい人生を送りながら良い人柄を形成するのが一番重要なことと考える。

ような人間は、風変わりな急進主義者として、紳士の範疇に入れられない。イギリス人には原則や理想のために、動きのとれなくなるようなリゴリズムはなく、如何なる条件のもとに於ても、己を生かして行く生活力があり、飽く迄も自分を中心として、自分の周囲をよく見廻し、大きな見落としがないように努力しながら、その周囲の事象や思想に、それぞれ適当な評価と地位とを与えて、バランスをとり、それが客観的な序列であるという確信を持つことが大切であると考えている。このことは、イギリス人は理論嫌ひだということに通じる。十九世紀末に出たロンドンの主教マンデル・クレインは、「イギリス人は思想を持ち合せていないばかりか、それにぶつかる」と、思想というものを毛嫌ひする」といったそうである。このことほどこの迄も理論を通そうとせず、客観的な姿勢を見て事を処すということを示すものと考えられる。

フランス人は最初一旦考えて実行に移した後は、その後の状態の変化をかえり見ることせず、一目散に突進する国民であると云われているが、それがたまたた例は史上見出すことが出来る。或る歴史家の考えるところによると、一七八九年にフランスに史上有名な大革命が起こったが、この大革命は種々の原因から起ったには相違ないが思想的には、王侯貴族、僧侶などに対する新興市民の平等な権利と自由を主張したからであると云われている。フランスは筋を通してからよく考えた後走り出

したのであるが、その途中、間もなく左翼のジャコンバン党によって恐怖政治に変わった。それにも拘らずに、最初は始めの考えを棄てようともせずにとことん迄行ったために、遂にナポレオンに率いられて国をあげて対外戦争へと走ったのだと考えられている。

このような観点から、わが国民はどんな思想を持っているであろうか。民族的思想などというものは、其国民にとっては其通的なものであり、従ってその社会に育ったものはいずれも感じないもので、寧ろ心ある外国人が観察する方が当てはまるものである。かかる考え方に基づいて私は英国の元首相チャーチルが日本人を評して云った言葉を引用して見よう。第二次世界大戦の折、わが国はまたたく間にシンガポールを占領した時、欧米ではこの辺で講和してはどうかとの考えもあつたらしいが、我国ではそれに耳を藉そうともしなかつた。そこでチャーチルは日本国民は行き過ぎの国民であると評したという話を聞いた。私はこの話を聞いて、今次の世界大戦にみじめな敗北をなし、わが国の歴史に拭うべからざる一大汚点を残すに至つたのは、恰も前記のフランス革命の時、フランス人が走り出せばその後情勢の変化を考えずに、只一途に突進したために、あのような結果に陥つたのとよく似ていると思う。これも日本人の行き過ぎの結果である。その他いろいろの方面についてわが国民の考え方や行動を観察してみると、たしかに行き過ぎと思われ

ることが多い。早い話が戦後国民の自由や人権の尊重がやかましく云われるようになったことは、誠に結構なことであるが、自由の真の意義を理解せずしたい放題にすることが出来るのだと早合点して、勝手気ままな振舞をするものが多くなつて来ている。もしそれを戒めようとする人権の侵害だといつてはね返して来る。責任を持たない自由や、他人に迷惑を及ぼすことを考えずに、行動

することが多い。早い話が戦後国民の自由や人権の尊重がやかましく云われるようになったことは、誠に結構なことであるが、自由の真の意義を理解せずしたい放題にすることが出来るのだと早合点して、勝手気ままな振舞をするものが多くなつて来ている。もしそれを戒めようとする人権の侵害だといつてはね返して来る。責任を持たない自由や、他人に迷惑を及ぼすことを考えずに、行動

することが多い。早い話が戦後国民の自由や人権の尊重がやかましく云われるようになったことは、誠に結構なことであるが、自由の真の意義を理解せずしたい放題にすることが出来るのだと早合点して、勝手気ままな振舞をするものが多くなつて来ている。もしそれを戒めようとする人権の侵害だといつてはね返して来る。責任を持たない自由や、他人に迷惑を及ぼすことを考えずに、行動

することが多い。早い話が戦後国民の自由や人権の尊重がやかましく云われるようになったことは、誠に結構なことであるが、自由の真の意義を理解せずしたい放題にすることが出来るのだと早合点して、勝手気ままな振舞をするものが多くなつて来ている。もしそれを戒めようとする人権の侵害だといつてはね返して来る。責任を持たない自由や、他人に迷惑を及ぼすことを考えずに、行動

昭和41年度収支予算書

収入の部			昭和41年4月1日より 昭和42年3月31日まで
科目	予算額	前年度 決算額	年度 決算額
会費	1,150,000	1,024,200	
本年度分	800,000	717,800	
過年度分	350,000	306,400	
電気講習所会費	170,000	139,500	
預金利子	160,000	160,899	
雑収入	90,000	505,500	
繰越金	3,386,880	2,944,449	
合計	4,956,880	4,774,548	

支出の部			昭和41年4月1日より 昭和42年3月31日まで
科目	予算額	前年度 決算額	年度 決算額
刊行物費	885,000	883,005	
名簿編集費	5,000	7,000	
同印刷費	500,000	570,000	
同発送費	200,000	259,525	
会報編集費	5,000	0	
同印刷費	75,000	17,400	
同発送費	100,000	29,080	
諸費	615,000	454,663	
備品費	10,000	68,440	
通信費	10,000	10,000	
会合費	5,000	2,450	
総会費	150,000	112,200	
集金費	90,000	89,825	
総掛費	150,000	71,608	
旅費	200,000	100,140	
臨時費	70,000	50,000	
懇話会補助	70,000	50,000	
予備費	3,386,880	3,386,880	
繰越金	3,386,880	3,386,880	
合計	4,956,880	4,774,548	

洛友会

昭和40年度収支決算書

収入の部			昭和40年4月1日より 昭和41年3月31日まで
科目	決算額	予算額	
会費	1,024,200	1,100,000	
本年度分	717,800	800,000	
過年度分	306,400	200,000	
電気講習所会費	139,500	150,000	
預金利子	160,899	130,000	
雑収入	505,500	495,551	
繰越金	2,944,449	2,944,449	
合計	4,774,548	4,820,000	

支出の部			
科目	決算額	予算額	
刊行物費	883,005	910,000	
名簿編集費	7,000	30,000	
同印刷費	570,000	480,000	
同発送費	259,525	200,000	
会報編集費	0	15,000	
同印刷費	17,400	62,000	
同発送費	29,080	123,000	
諸費	454,663	600,000	
備品費	68,440	15,000	
通信費	10,000	5,000	
会合費	2,450	20,000	
総会費	112,200	200,000	
集金費	89,825	90,000	
総掛費	71,608	120,000	
旅費	100,140	150,000	
臨時費	50,000	50,000	
懇話会補助	50,000	50,000	
予備費	3,386,880	3,350,000	
繰越金	3,386,880	3,350,000	
合計	4,774,548	4,820,000	

預金および現金

信託預金	2,736,516
定期預金	500,000
普通預金	111,136
信託通座	9,277
替	6,606
信定普通振現	23,345
合計	3,386,880

昭和41年3月31日現在

三菱、住友、信託銀行京都支店
住友銀行京都支店
住友銀行京都支店、第一銀行百万遍支店
第一銀行百万遍支店

見廻すことなく、只一目散に走り出すというフランス人式のやり方で日本人一般に持っている行き過ぎの思想から出たことであろうと思う。周囲の情勢を考えずに暴力に訴えることは、最終的には敗北である。

現代は何事も急テンポで変化しつつある時代である。今日よいことと思つたことも明日はよいことであると思えないようなことが起らないとは限らない。而しそれだからと云つて只右へ左顧では何事も出来な

い、よく考えた上、良いと思つたことは直ちに着手すべきであるが、その後には於ける周囲の状況の変化に注意し、それに適するよう修正しながら進むべきであつて、走り出したら前後の見境もなく、思想にとらわれ遮二無二突走するような行き過ぎ行為は、誠に危険である。

第十五回

洛友会総会の記

五月二十一日(土)午後四時より東京高輪プリンスホテルに於て東京支部総会と合同で開催された。

出席者約一二〇名(内、夫人同伴七名)まづ鳥養会長議長席につき挨拶後、議事にうつり、昭和四十年年度収支決算および昭和四十一年年度収支予算は、新任の山本幹事説明の後、満場拍手裡に承認可決された(別項参照)尚次の如く会則一部変更と新役員の名が行われ、満場一致可決された。

洛友会則一部変更

第九条

1 会長は本会の事 処理するため評議員の内から幹事若干名を委嘱する

2 会長、副会長、幹事及び支部長を以て常任役員会を組織し、会の重要事項を審議議決する

3 本会に顧問若干名を置くことが出来る。顧問は常任役員会の推薦により推戴する

第十四条

本会の予算及び決算は年次総会に於て承認を得るものとする

新役員

(会長指命)

副会長 巽 良知(前山村副会長逝去のため新任せらる)

幹事 石川辰雄 藤田 真 松本茂雄 和田昌博(関西支部より選出)

議事終了後、大谷教授より故山村忠行副会長の記念事業募金の報告があり、鳥養会長より遺族代表山村龍雄氏に胸像を贈呈した。

ついで、大宴会場に懇親会にうつり御互いに健康を祝しつ、歓談の時を移した。終りに、大先輩高橋保氏(明治四十三年卒)の発声により洛友会萬歳を三唱して散会した。

東北支部設立

昭和四十一年七月二十日

関係各位より切望されておりました東北支部が、六月十一日(土)午後六時より仙台市ランドホテルに於て開催された総会によって設立されました。設立総会は本部より鳥養会長、林副会長、山本幹事の三先生に御来仙戴き、出席者は三十名中十四名で、出席率四十七名の盛会の中に開会されました。

最初に世話人代表の山下氏より設

立準備経過報告があり、内田英成東北大学教授を議長に選出して議事にはいり、会則並びに役員を万場一致で承認されました。続いて平井支部長より東北支部初代の支部長として、東北支部発展の抱負と決意を示され、鳥養会長より激励のお話を戴き、引続き林副会長、山本幹事より洛友会本部の近況報告等会員一同感激のなかに議事を終了しました。

ついで鳥養会長の首頭で乾杯し、懇親会に移り、鳥養会長、平井支部長をはじめ、昭和2年卒の林先生から昭和四十年卒の松本君まで、大正昭和にまたがった大学時代の思い出や、近況報告等で終始和やかなうちに、時間のたつのも忘れ午後九時過ぎ散会致しました。

終りに、東北支部設立に寄せられた本部並びに関係の皆様御支援に深く御礼申し上げますと共に、関係者の強い期待のなかに生まれた東北支部に今後とも御力添を賜りますようお願い申し上げます。(三回)

東北支部役員

- 顧問 荒井源三郎(大四)
- 支部長 平井寛一郎(大十五)
- 副支部長 内田 英成(昭九)
- 評議員 谷口 正夫(昭四)
- 進藤 陽吉(昭六)
- 石川 清(昭七)
- 山下 実(昭七)
- 内山 政亮(昭十九)
- 鈴木 良一(昭二十)
- 三上 謙五(昭二十一)
- 幹事 二村 忠元(昭十五)
- 三国文治郎(昭十六)

洛友会中国支部総会

中国電力技術研究会に御出席のため来広された林重憲先生ならびに山本新幹事をお迎えして五月十三日午後六時より広島市の北西太田川河畔静寂名勝の三滝観音で名高い地、観音山荘で昭和四十一年度洛友会中国支部総会を開催した。真田支部長の挨拶に始まり中国支部ニュースの紹介、昭和四十年会計報告、四十一年度支部役員改選等議事が進められ林先生より教室の近況報告山本幹事より洛友会の近況等懐かしくお伺いし引続き懇親会に移った。

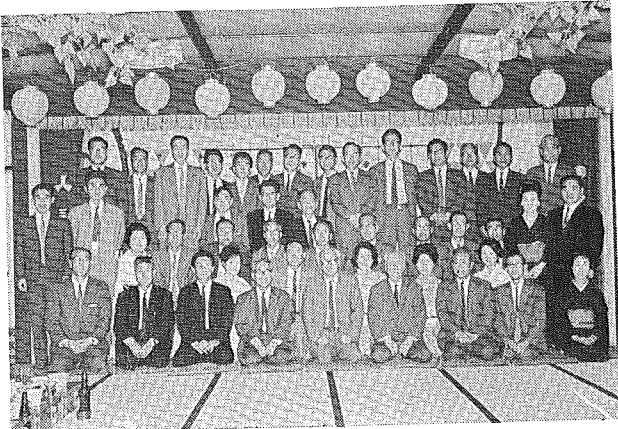
安藤 孝野(昭三十)

女達 哲夫(昭三十五)

本年は遠く鳥取、島根、岡山、山口方面の会員の方々の参集があり、美貌のホステスのサービスと広島的美酒に酔い宴たけなわとなるにつれ自慢のかくし芸がつぎつぎと披露され、和気あいあいの雰囲気の中、盛会裡に会を閉じた。

出席者

- 林(重)先生 山本幹事
- 木村 一男 (大15)
- 木元 正夫 (昭2)
- 真田 安夫 (昭2)
- 高橋 親雄 (昭4)
- 竹内 貞美 (昭7)
- 潮見 公安 (昭8)
- 白木 恒夫 (昭11)
- 佐々木毅一 (昭12)
- 古賀 七郎 (昭15)
- 滝口 哲朗 (昭16.3)
- 井上 武 (昭16.12)
- 江見 耕平 (昭17)
- 守分 亨 (昭19)
- 老田他四郎 (昭20)
- 大月 清一 (昭20)
- 武田 博之 (昭21)
- 小川 清 (昭22)
- 太田 勇 (昭23)
- 門野内忠幸 (昭23)
- 中村善三郎 (昭23)
- 伊藤 薫 (昭24)
- 仁木 可也 (昭27)
- 小刀 一晃 (昭28新)
- 久保 洵 (昭29)
- 井上 幸夫 (昭31)
- 川村 修 (昭35)
- 井上 靖彦 (昭36)
- 牧 征滋 (昭38)
- 小野 政市 (昭3)



洛友会中部支部総会

- 三木 盛一 (講昭6)
 - 三田 徳平 (講昭7)
 - 高橋 小六 (講大11)
 - 安藤 房吉 (講昭3)
 - 辻野 優 (講昭9)
 - 高橋 広市 (講昭14)
- 計 37名
(門野内記)

五月二十七日、名古屋市内に於て開催した。本部より林重憲大谷泰之而教授及び山本幹事が出席した。

懇親会の席で本多支部長より、こまだに關する興味あるお話を承った。出席者及び新役員は左記の如くである。

出席者

- 昭和四十一年五月二十七日
- 来賓 林 重憲 大谷 泰之 山本 茂雄 庄野 誠一 村瀬 邦明 河津 吉兵衛 本多 静雄
- 大正15年 知識 兼則 田中 卓次 後藤 利雄 竹上 武雄 河合 次男 古田 久一 松岡 重一 高尾 馨夫 神谷 進 大杉 幹 永井 徐二郎
- 昭和7年
昭和8年
昭和10年
昭和12年
昭和13年

- 昭和14年 筑木 二郎
昭和16年 武田 進
昭和17年 谷村 愛道
昭和21年 藤 間 豪一
昭和23年 高井 公雄
昭和25年 川合 幸彦
昭和27年 鈴木 郁朗 西田 富士夫 鈴木 郁朗 木本 巖
- (古田記)

第十一回洛友会 四国支部総会記

去る六月四日高松市内の新常磐に鳥養先生林(重)先生ならびに山本幹事をお迎えして、第十一回洛友会四国支部総会ならびに懇親会が開催された。

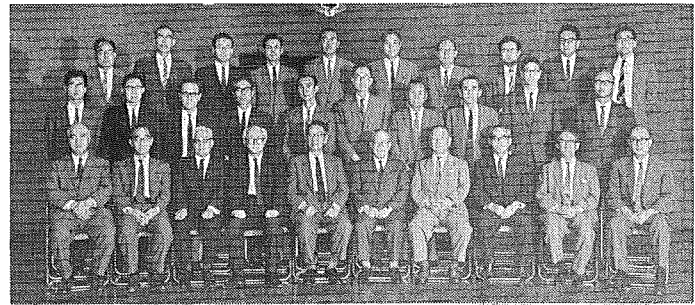
渡部支部長が辞意を洩らされ、北脇先輩(昭五卒)が新支部長に満場一致で選任された。これに伴ない、副支部長、幹事も全員改選され、当支部事務局を新居浜市住友共同電力K区内に置くことに決定する等一連の変更改がなされた。

洛友会四国支部新役員

- 支部長 北脇 保喜
副支部長 片岡 恒
幹事 阿部 要 土井 正之 船越 孝夫 西脇 正道 永野 由二 吉田 芳正

最後に故山村副会長(長福を折つて総会をおえ引継ぎ)に会に入り、

先生方を囲んでなつかしい一刻を過ごした。(杉本記)



洛友会 九州支部総会

六月二十一日福岡市天神ビルに於て開催本部より鳥養林重憲両先生と山本幹事が出席した。

宮田支部長挨拶の後議事に入り、新役員を次の如くに決定した。

洛友会九州支部昭和四十一年度役員は次のとおりとする

- 顧問 高柳与四郎
支部長 宮田 秀介
副支部長 河本勝寿・足立 斌
評議員 岡 次雄・町田 元 戸山信芳・本郷式良

前田道生・森 恒忠 加来誠一郎・野田虎男 安田振之助・大橋章男



△編集後記▽

○会費納入についてのお願ひ
会費未納の方には振替用紙が折り込んでありますから、お忘れなくお振り込み下さいませ御願ひいたします。会報、名簿等の発行ごとに振替用紙を、お心ごとにしておりませがその手がが大変でありますので

西 助九郎・永山盛敏 増岡健一 幹事 井上大助・吉川徳夫 岡元昭孝・塩路孝夫

- 大14 俣賀 紀六 39・12
大9 山口長次郎 41・2・21
講大9 鹿子木学而 41・3・5
講大6 小林 保一 40・12
" 吉田 豊男
講昭7 泉 正信 41・4
明40 中村 正義 41・8・29
大4 岩尾 啓三
" 松尾正男(選)
講大4 桐野 義隆
講大13 村田 周造
講昭7 箕浦 乙己 40・8・13

以上十二君は有為の材を懐きながら御逝去になりました。謹んで哀悼の意を表します。

よろしく御願ひ致します。
名簿を出来るだけ正確にするため会員各位の勤務先御住所等変更のありました場合、又は旧名簿中の誤記がありましたら至急事務局宛御通知下さる様お願い致します。

○今回は、野田清一郎氏、道田貞治氏の大先輩より御投稿を頂き、会報を飾ることが出来ました。両先輩に厚く御礼申し上げます。
尚、今後会員各位よりの御投稿を御待ちして居ります。(山本記)

洛友会事務局

京都市左京区田中大堰町四九番地
財団法人 応用科学研究所
電話 ㉞(三五六六)